

岐阜大学協力会

事務局／岐阜大学産学官連携推進部門内

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1

TEL.058-293-3187 FAX.058-293-2032 E-mail ccr-jimu@t.gifu-u.ac.jp



1 今年度も特別講演会を「産学連携フェア2024」と共催

令和6年12月3日(火)に岐阜大学内・OKB岐阜大学プラザ1Fプレゼンテーションエリアにおいて開催。学術研究・産学官連携推進本部主催の「産学連携フェア2024」との2部構成としました。特別講演会終了後は、場所を同建屋内のOKBスクラムに移動して懇親会を行い、講演者・坪井俊輔様も参加をされ、協力会会員の皆様と交流をしていただきました。

【第1部】

産学連携フェア2024：5名の先生による研究開発の紹介

【第2部】

岐阜大学協力会：特別講演会

【第1部】産学連携フェアでは「地域との産学連携の拡大を通じて、新たな価値を創造し地方創生の実現を目指す。」を主テーマに、吉田学長の挨拶に続き、5つの研究紹介が行われました。

- ・「製造業のGX／カーボンニュートラルを実現する“ターコイズ水素”」
工学部 准教授 朝原 誠
- ・「フードロス削減を目指した食品加工」
応用生物科学部 准教授 勝野 那嘉子
- ・「プラント・生産技術を支えるプラズマ応用研究」
～機械材料・部品の表面特性制御を中心として～
工学部 教授 上坂 裕之
- ・「持続可能な園芸植物生産を築くバイオスティミュラント」
応用生物科学部 教授 松原 陽一
- ・「金属積層造形技術を活用したダイカスト金型への技術展開例」
工学部 准教授 新川 真人



2 特別講演会の開催

【第2部】岐阜大学協力会主催の「特別講演会」を開催。協力会専務理事である矢部富雄部門長による挨拶の後、講演となりました。

今年度より、岐阜大学協力会は岐阜大学発のスタートアップを支援することを会則に定め、その一環として岐阜大学発のスタートアップである、サグリ株式会社代表取締役・坪井俊輔氏に講演をしていただきました。

坪井様の熱量ある講演に出席者一同、時間が経つのも忘れて聞き入り、インパクトスタートアップをやり遂げるために必要な情熱の強さ・志の大きさというものを感じていただけたと思います。

「衛星データとAIで農業と環境の課題を解決する岐阜大発インパクトスタートアップとして」

講師：サグリ株式会社 代表取締役 (CEO) 坪井 俊輔氏

【講演概要】

私・坪井俊輔が創業した「うちゅう」と「サグリ」の原点、アントレプレナーとして大切にしている「熱」と「志」、さらに起業後の体験やこれから起業を目指す若者へのメッセージについてお話ししたいと思います。

私は21歳で教育会社「うちゅう」を、23歳でテクノロジー企業「サグリ」を立ち上げました。そもそも私の起業の原点には、宇宙への強い憧れがあります。幼少期、ディズニーランドのトゥモローランドに心を奪われ、宇宙飛行士の毛利衛さんのお話を聞き、宇宙に憧れました。また、JAXAやNASAの研究を目にしたことで、宇宙に関わる仕事がしたいという夢が膨らんでいきました。しかし、その道りは決して簡単なものではありませんでした。

中学時代には、夢を語ることで周りからは浮いた存在になってしまい、それに反発したことによりいじめに遭い、高

校時代に至るまで周囲から「無理だ」と言われ続けました。それでも、「宇宙に関わる何かを成し遂げたい」という情熱が私を支えてくれました。夢を否定される中で、自分を奮い立たせ、どうにか夢を実現する道を探し続けたのです。

大学1年生のとき、初めて海外留学を経験しました。そのとき出会った人々は、自分の目標に向けて行動し、目的を持って学んでいました。その姿を目の当たりにし、衝撃を受けた私は、自分の原点を改めて見つめ直しました。そして、「誰もが夢を追える環境を作りたい」という思いが生まれ、これが「うちゅう」を創業するきっかけとなりました。

「うちゅう」では、宇宙をテーマに子どもたちの探究心を育む教育プログラムを展開しました。しかし、最初は全く収益が上がらず、1回500円という低価格で始めたため、交通費さえ賄えない状況でした。それでも、徹夜で教材を作り続け、努力を重ねました。次第に、宇宙を切り口にした教育が多くの子もたちとその家族に認められ、イベントには数千組が参加するようになりました。教育事業を通じて、夢を追うことの重要性を改めて実感しました。

その後、アフリカのルワンダを訪れた際、現地の子もたちが中学や高校に通えず、農業を手伝わざるを得ない現実と直面しました。彼らは「パイロットになりたい」「医者になりたい」と夢を語ってくれましたが、経済的な理由でその夢を諦めざるを得ない状況でした。そのとき私は、教育だけではなく、農業の抱える課題に取り組む必要があると強く感じました。農業が彼らの生活を支える大きな柱である以上、その課題を解決しなければ、子どもたちが本当に夢を追う環境を整えることはできません。この気づきが、「サグリ」を創業する直接的なきっかけとなり、その後、元・伊藤忠商事の益田周氏、元・岐阜大学准教授の田中貴氏らが経営メンバーに加わり事業を発展させていきました。

「サグリ」では、衛星データやAI技術を活用し、農地の状況を可視化することで、農業や環境の課題を解決する事業を展開しています。特に、農地の管理や効率化、小規模農家が収益を得られる仕組みの構築に力を入れています。しかし、創業後も数々の困難がありました。特にコロナ禍では、海外渡航が制限され、現地スタッフとの連携が難しくなりました。また、インドのスタッフが突然離脱し、事業資産を持ち去るという苦しい経験もしました。そんな海外渡航の出来ない状況の時にも、国内の農業課題に向き合いながら事業モデルを進化させ、岐阜県下呂市で衛星データを活用した農地管理ソリューション「アクタバ」を導入するなど、新たな取り組みを成功させました。

私がアントレプレナーとして大切にしているのは、「熱」と「志」という2つの言葉です。「熱」とは、自分が情熱を持って取り組むエネルギーであり、「志」とは、社会にどのように貢献していくかという大きな目標です。この2つがあるからこそ、私はどんな試練にも立ち向かうことができました。私の尊敬する経営者である孫正義さんも「志」という言葉をよく使われますが、この言葉は会社や個人が目指すべき北極星のような存在だと感じています。

最後に、これから起業を目指す若者へのメッセージをお伝えします。「リスクを恐れず、まず行動してみてください。周囲のバイアスに流されることなく、自分が信じる道を突き進むことが大切です。起業には多くの困難が伴いますが、それを乗り越えた先には、社会を変える力と可能性が広がっています。自分の『熱』と『志』を信じ、行動を起こしてください。」

私はこれからも、夢や志を持つ人々をサポートし、より良い社会を実現するために挑戦し続けます。皆さんもぜひ、自分の夢を追い続けてください。

※講演内容について視聴をご希望される方は下記までご連絡ください。当日の録画データを配信させていただきます。
Mail : ccr-jimu@t.gifu-u.ac.jp (岐阜大学協励会 事務局 日比・武藤)



サグリ株式会社
坪井 俊輔 氏

3 令和7年度・協励会総会開催案内

【開催日】 令和7年5月30日(金)

【場所】 じゅうろくプラザ 岐阜市橋本町1丁目10番地11

【スケジュール】 令和7年度総会 (14:00 ~ 14:45)

記念講演会 (15:00 ~ 16:45)

協励会フォーラム・交流会 (17:00 ~ 18:30)

令和7年度の総会は例年通り、JR岐阜駅から直結のじゅうろくプラザで開催いたします。また、現地に足を運んでいただきたいの思いから、昨年に引き続き Web 配信も行いません。(総会ならびに記念講演会の様子は録画をし、後日希望をされる方に配信をさせていただきます。)

記念講演会では、久遠 (QUON) チョコレート代表・夏目浩次氏のご講演を予定しています。1977 (昭和52) 年生まれの夏目氏は、2003年に愛知県豊橋市において障がい者雇用の促進と低賃金からの脱却を目的とするパン工房 (花園パン工房ラ・バルカ) を開業。その後、パン事業や印刷事業など多岐にわたる事業展開を実施し、障がい者の低賃金問題に取り組み、より障がい者に賃金を支払える事業を模索して2014年「久遠 (QUON) チョコレート」を立ち上げ、現在全国41店舗 (製造のみの拠点も含めると61拠点) において、約780名以上の障がいのある方や多様な方々が働くチョコレートブランドとして成長しています。その取り組みはマスコミにも多く取り上げられ、2024年にはテレビ東京系列「日経スペシャル カンブリア宮殿」にも出演。また、チョコレートブランドとしても、日本最大級のチョコレートの祭典・ジェイアール名古屋タカシマヤで開催されるアムール・デュ・ショコラに出店する実力を持っています。